



万博会場の夢洲は、M6の地震で

大屋根リングは蛇のように波打つ

1/24 アルカイックホールで行われた「阪神・淡路大震災30年防災教育「絆」フォーラム」(主催：県教育委員会の防災教育事業実行委員会)で、基調講演をされた人と防災未来センターの河田恵昭センター長は、災害に対する予防が重要という話の中で、大阪・関西万博の開催地夢洲について次のように述べていました。

「延長2キロの木製円形リング マグニチュード6で摇れますと、蛇がうねるように波状攻撃を受ける」

「万博会場の構造物は全部、仮設構造物。6ヶ月で撤去する。建築基準法が適用されていない」

「全く安全ではありません」と、発言されていました。(詳細は右記)

開幕まで約1ヶ月。テレビなどで、盛んに万博の話題が流されています。当日券の販売や割引きなど、あの手この手で来場者を増やす対策はすすめていますが、メタンガス、熱中症、災害時の孤立などの災害対策は従来のままのようです。

尼崎市長や教育長が懸念していた「万博会場の安全性」について、県教委のフォーラムでも同様であることがわかりました。

河田センター長が提起した「巨大地震が起るとどうなるか？」に、学校としてどう応えるかが問われています。

カード作り講座

毎年恒例の「お祝いカード」作りしゃべりながら楽しく作りました！



基調講演から（抜粋）

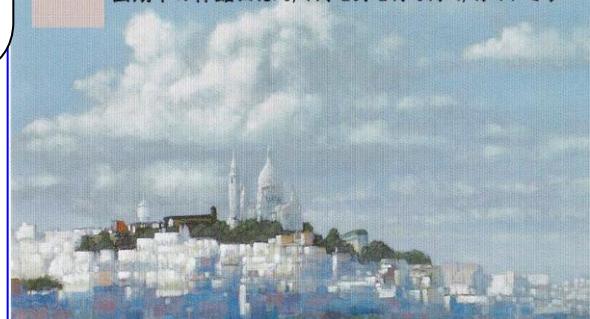
「(万博)協会は、南海地震が起こっても大丈夫だと、津波が来ても防潮堤は高く作ってある、埋め立ての高さも十分にある。でも、被災するというのはそういうものがほとんど役に立たないということを示しているのであります。あの延長2キロの木製円形リング マグニチュード6で摇れますと、どうなるかというと、蛇がうねるように波状攻撃を受けるわけあります。そういう設計をやっていない、なぜかと言いますと、万博会場の構造物は全部、仮設構造物です。6ヶ月で撤去する。ですから厳密には建築基準法が適用されていないのであります。そういうことを来場者は知らない、だから協会が一日平均16万人やって来る会場が安全だと言ったら、そう信じているのであります。こういうことをいくら協会に言ってもだめなんですね、わが国というものは本当にそういう意味で、この学問の成果というものをきちんと理解しない、勝手に評価するということは常態化しています。ですからみなさまも万博の会場に行かれがあると、南海トラフの巨大地震が起こるとどうなるかということを、ちょっと想像してみてください。全く安全ではありません。そういうふうに私たちが知らなければならない情報も実はあまり流布していない現実があります。」

安田祐治・洋画展

会場 尼信会館1階展示室（入館無料）

期間 2025年3月15日(土)～4月20日(日)
10:00～16:00

休館日 月曜日・祝休日(土曜日・日曜日と重なる場合は開館)
会期中の休館日は3/17、20、24、31、4/7、14です



学びの多様化学校【尼崎琴葉(あまがさきことは)中学校】の情報

2026年4月開校に向けて準備がすすんでいます。校名は尼崎琴葉中学校。(資料は尼崎市より)

【編成の方向性】

- 【心理的安全性】 セキュアベースを核とし
- 【自主性】 セルフマネジメント
- 【創造性】 ライフデザイン
- 【社会性】 ソーシャルスキルを育む

●生徒の健康面や市内全域からの通学を踏まえて
登校時間は遅め、下校時間は早めとなるよう時間割を設定

標準の授業時数
※中学校の場合
→年1,015時間

標準の授業時間
※中学校の場合
→1コマ50分

2~3割 削減

5分 短縮

●9教科全ての枠組みを残しつつ
内容を整理して、それぞれの授業時数を削減

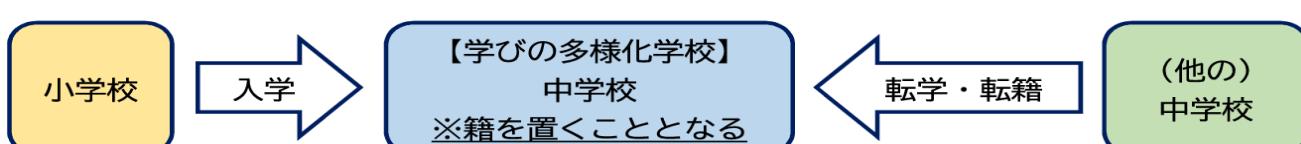
●特色ある学びの実現に向けて
道徳を総合に統合するとともに、9教科で削減した授業時数の一部を総合に加え、総合を拡充

【学びの多様化学校】
ゆとりと特色ある学びの実現を図る

**【学校教育法施行規則に規定されている中学校の標準の授業時数(「標準」欄)】と
【文部科学大臣への申請を予定している学びの多様化学校の授業時数(「申請」欄)】**

区分	第1学年		第2学年		第3学年		合計		
	標準	申請	標準	申請	標準	申請	標準	申請	
各教科(9教科)の授業時数	国語	140	105	140	105	105	70	385	280
	社会	105	70	105	70	140	105	350	245
	数学	140	105	105	70	140	105	385	280
	理科	105	70	140	105	140	105	385	280
	音楽	45	17.5	35	17.5	35	17.5	115	52.5
	美術	45	17.5	35	17.5	35	17.5	115	52.5
	保健体育	105	52.5	105	52.5	105	52.5	315	157.5
	技術・家庭	70	17.5	70	17.5	35	17.5	175	52.5
	外国語	140	105	140	105	140	105	420	315
特別の教科である道徳(道徳)の授業時数	35	0	35	0	35	0	105	0	
総合的な学習の時間(総合)の授業時数	50	175	70	175	70	140	190	490	
特別活動の授業時数	35	35	35	35	35	35	105	105	
総授業時数	1,015	770	1,015	770	1,015	770	3,045	2,310	

※学びの多様化学校の教育課程については、令和7年度に文部科学省の審査を受ける予定となっており、当該審査(文部科学省との調整)を経て、授業時数は変更となる場合があります。



(1)尼崎市内に居住していること
(2)不登校状態である又は不登校傾向が見られること
(3)尼崎市の学びの多様化学校の教育課程や特徴を理解した上で、本人・保護者ともに入・転学を希望するとともに、登校して学ぶことを希望すること

(1)~(3)の要件をすべて満たす → 面接を実施 → 会議体で入・転学を判断

学年	生徒数
第1学年	10~15名程度
第2学年	10~15名程度
第3学年	10~15名程度